

川本幸立の まちづくり通信



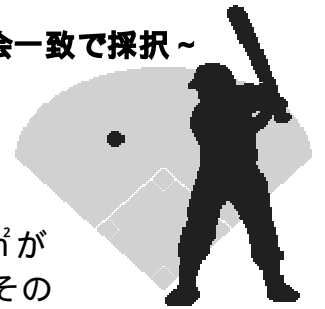
第9号 07年10月15日発行

編集・発行 市民ネットワークみどり

千葉市緑区おゆみ野3-40-8-101 TEL&FAX 043-293-8011 043-294-8607 (川本)

川本幸立ホームページアドレス:<http://www.k5.dion.ne.jp/~kawamoto/>

土気高校グラウンド ~敷地確保を求める請願を全会一致で採択~ 大幅削減を見直しへ



土地区画整理事業の不振のツケで、グラウンドの1/3、約8,200㎡が削減される危機にあった県立土気高校。6月議会の一般質問で私はその不当性を指摘しました。当初、財政面で難色を示していた県教委は、大幅削減方針を撤回し、少なくとも6,000㎡程度の買い取りを検討していることが明らかになりました。また、約24,000名の署名を集めた「敷地確保を求める請願」も継続審査となっておりますが、9月議会では全会一致で採択されました。生徒、教職員、PTA、地域が一体となって取り組んだ貴重な成果です。今後の県教委と事業組合の協議結果が注目されます。

少しづつ... 議会改革

きびしく批判されている議員特権について県議会では「千葉県議会あり方検討委員会」を設置し、6月議会で「費用弁償」を「交通費実費支給」に改め、9月議会では、実質的な審議を行う場である委員会の議事録を逐一筆記とし県議会のホームページで公開することが決まりました。

一方、政務調査費(40万円/月)の用途の公開は、自民党が用途基準とあわせて検討する必要があるとして12月議会に持ち越しとなりました。

市民ネットワークは、「1円からの領収書の全面公開を直ちに実施することを求める提言」を検討委員会に改めて提出しました。

県議会は「八百長と学芸会」?!

9/22の読売新聞に掲載された、前鳥取県知事の片山善博慶応大教授の言葉です。

「議会前日夜に全部、翌日の質問と答弁、再質問を決め、お互いにすりあわせて議場に臨み、一番重要な部分が失われる。全国ほとんどの地方議会は八百長と学芸会。」

千葉県議会ではどうでしょうか？
最も大きな問題は、議場での開かれた対話で物事が決められるのではなく、行政トップと議会多数派の水面下の根回しで物事が決められ、議会がその「追認機関」となっている実態です。議会多数派が望みそうにない答弁は最初から排除されてしまいます。これでは中堅や若手、私たちのような少数会派はカヤの外に置かれます。議会を県民に対して「八百長と学芸会」?の場におとめているのは、知事と95人中57名をしめる自民党会派の長老たちと言えます。

借金累積 2兆数千億円

今年度財源不足 200億円

それでも…道路…どうろ…ドウロ…!!

今年度財源 200 億円不足なのに、
数十の道路建設要求

9 月議会では、18 名の議員が一般質問しましたが、その内容は、質問者の出身地域の道路建設推進を求めるものが多く、道路の数にすると 70～80 に及ぶものと思われます。千葉県の借金は累積 2 兆数千億円、地方交付税の削減で今年度の財源不足が 200 億円となっているにもかかわらずです。

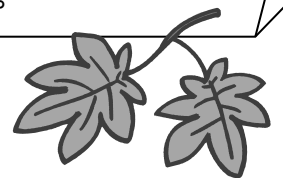
現在の千葉県管理の道路延長約 3,400 km (国道 798 km、県道 2,581 km)。この道路修繕費が、本来毎年 100 億円かかることを 39 億円 (19 年度) に削られているという状況です。

「アレモコレモ」の時代は終わり、「アレカコレカ」の時代です。なぜ必要か、財源をどうするかの説明責任が求められます。

酒々井インターチェンジ計画
計画地周辺でオオタカやサシバの
調査の実施が明るみに

無駄な公共事業の典型、東関東自動車道の酒々井インターチェンジ計画(当初工事費 60 億円)を市民ネットワークは、一般質問のたびに取り上げてきました。

この 9 月議会では、大野博美議員が、計画地周辺でオオタカやサシバが生息し、県も環境調査を行っていることを明るみにしました。それを受けて私も県土整備常任委員会で、「営業を妨げる工事を一切行わないこと」「工事スケジュールの見直しや計画変更も視野に入れること」を求めました。



千葉にもあった『緑資源機構』の事業

～農道 180 億円、区画整理 57 億円～

農林水産省所管の独立行政法人「緑資源機構」と言えば、林野庁OBで自殺した松岡元農水相らに象徴される官製談合・不正、疑惑、つまり税金を喰い物にしている構図が思い浮かびます。この緑資源機構の農用地総合整備事業は全国 7 区域で行われていますが、その一つが千葉の南部(南房総市、館山市)で施行中であることを偶然に知りました。

そこで、9 月 18 日現地を視察しました。事業名は「安房南部区域 農用地総合整備事業」と言い、農道整備事業と農地土地区画整理事業の 2 つからなります。

前者は 11.5 ㌥の山間地の農道整備(幅員約 9 ㍎)で事業費は 180 億円(内、県負担 70 億円)、後者は内陸丘陵の主
に田んぼの土地区画整理事業で 168 ㌥、事業費は 57 億円(内、
県負担 23 億円、市負担 10 億円、受益者負担 3 億)、平成
13 年度に着工し、完成予定は平成 21 年度で全体の進捗率は
8 割程度といいます。不要不急の公共事業の見本です。



千葉県議会・千葉市議会報告会を開催します。ぜひ、聞きにきてください。

11月14日(水)13:30～16:00(きぼーる 15 階多目的室)

11月18日(日)14:00～16:00(あすみが丘プラザ)